

【情報公開文書】

観察研究の実施についてのお知らせ

2009年5月から2020年12月までの間にPET撮像を受けた卵巣明細胞腺癌の患者さんへ

京都大学医学部附属病院、京都大学医学研究科では病気の診断や治療の向上を目指して、実際に治療を受けられた方の臨床情報を基に種々の研究を行っています。以下に概要をお示ししますので、ご理解の程宜しくお願い致します。

1 研究の名称

卵巣明細胞腺癌の¹⁸F-FDG PET/CT 所見に関する検討

2.研究の目的・意義

卵巣明細胞腺癌はまた、前者は内膜症を高率に合併するとされています。卵巣明細胞腺癌は¹⁸F-FDG PET/CT (以下 PET)の集積が低い場合があり、精索間質性腫瘍などその他の腫瘍との鑑別を要することがあります。我々の目的は卵巣明細胞癌の PET における特徴を明らかにすることを目的としています。

3. 研究期間

研究実施期間:倫理委員会承認日より2年間

情報の取得期間:京都大学医学部附属病院産婦人科にてで卵巣明細胞腺癌と診断され、2009年5月から2020年12月までの間にPET撮像を受けた患者さん

4. 倫理審査

本研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しております。

5. 研究機関の名称、研究責任者の氏名

京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座(画像診断学・核医学)

責任者氏名:中本 裕士

6. 試料・情報の利用目的・利用方法

以下の7に記載の情報をを用いて、画像や患者さんの情報から、卵巣明細胞腺癌のPETのパラメーターの比較を行います。

7. 利用または提供する資料・情報の項目

京都大学医学部附属病院産婦人科、或いは他院で撮像された PET で当院のワークステーションで解析が可能な卵巣明細胞腺癌の患者さんが対象です。画像及び電子カルテ上の患者さんのデータ(カルテ番号、生年月日、PET 撮像日、撮像条件、既往歴、治療経過)を個人が特定できない形で使用します。

8. 資料・情報管理について責任を有するものの名称

研究責任者：中本 裕士

京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座(画像診断学・核医学)

京都市左京区聖護院川原町54

9. 患者さんの情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する事

下記 12 の連絡先にご連絡をいただければ、患者さんの情報使用を停止いたします。

10. 本研究に関する資料の入手・閲覧及びその方法

患者さんの個人データに関しては匿名化済みです。他の患者さんの個人データを取得することはできません。研究や個人情報保護に支障がない範囲で本研究に関する研究の資料の入手、閲覧ができますので、下記の 12 に示す連絡先にお問い合わせください。ただし、研究や個人情報保護に支障があると判断された場合は、資料の入手・閲覧ができない事があります。

11. 研究資金・利益相反について

本研究は運営交付金により実施します。特定の企業からの資金提供は受けていません。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」、「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査されています。

12. 本研究に関する問い合わせ先

研究機関: 京都大学医学部附属病院 放射線診断科

研究責任者: 中本 裕士

相談窓口: 京都大学医学部附属病院 放射線診断科

Fax: 075-771-9709

e-mail: diag_rad@kuhp.kyoto-u.ac.jp

または

京都大学医学部附属病院 相談支援センター

Tel: 075-751-4748

e-mail: ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp